



目指す学校像  
キャッチフレーズ

# 東中だより

生徒一人一人を大切にし 信頼される学校  
蕨東の あいさつ一つで笑東へ

生徒数(名)  
男子 162  
女子 180  
計 342

## 実りの季節を迎えて

校長 阿部 仁

### ～実りと彩りの秋～

先週あたりから朝晩の気温が低下傾向にあり、季節の移ろいを肌で感じられるようになってきた。作物は実を結び、木々の葉は赤や黄色へと色を変え、街全体が秋の装いへとその姿を変えていく様は、毎年のことながらしみじみとした感じを受け止めている。

### ～学校からみた秋の季節～

学校という教育機関における秋の季節は、様々な成果を発表する時期と重なることが多い。学校公開であったり、研究発表会だったり、2学期を中心に設定されることが多いのは、作物の実りに掛けて、「成果発表」の意味合いからだと考えるのは早計だろうか。様々なコンクールや審査会、展覧会などが最盛期を迎えるのも、これからの時期である。ちなみに、本県では「彩の国教育の日 彩の国教育週間」が11月1日からと設定されていることに絡んで、実に多くの学校が、この期間中に学校を広く保護者や地域に公開している。

### ～行事等を通しての成長～

ご案内のとおり、本校の行事でみれば、9月14日の音楽祭、10月26日の体育祭、10月29日からの学校公開週間などが設定されている。加えて、9月下旬は二市新人体育大会もあった。音楽祭に向けた学級・学年・全校の合唱練習へ取り組む生徒の姿、世代交代した部活動では、2年生が主力となって練習に汗を流し、試合では緊張しながらも各競技で躍動する姿を見

た。毎日校内で目にしている姿と異なり、行事や試合で見せる姿の違いに驚くとともに、一人一人がやはり日々成長しているのだと改めて実感させられる。個人競技は例外として、自分以外の誰かと協力して、何事かを成すということは、人が社会で生きていく上では最も大切なことであり、やはり学校の教育活動を通して、子供たちはその術を学んでいく。学校とはそういう場なのだとして改めて認識させられる。

### ～合意形成への努力と協調性の育成～

2学期の始業式で、生徒に対して次のような話をした。

『2学期は行事が数多くあり、それぞれの行事には目的があります。芸術性を高めたり、運動能力を発揮するという一義的なことだけでなく、自分一人では成し遂げられないことを、仲間と協力しながら達成することが求められます。集団で何かを行う際には、必ず合意形成の努力と協調性が不可欠になっています。これは、人間社会を生きていく上でとても大切なものです。合意形成への努力と協調性。ぜひ学んでほしいと思います。』

行事だけに言えることではなく、あらゆることに通じるものであるが、2学期という特性からこのような話にした。話の意味を生徒たちが理解してくれたかどうかは、これまでの生徒の活躍から推し量るほかはない。ただ、実りの秋と同様に、子供たちの中にも「成長という果実」が実りつつあることを、しみじみと感じている。

-了-